

イチゴの着色向上に有効な大分方式高設栽培の玉受け部資材

野菜・茶業研究所

「さがほのか」で問題になっている厳寒期の着色不良を改善するため、大分方式高設栽培に設置している玉受け部（通称ウイング）の資材について検討したので紹介する。

【普及したい技術のポイント】

大分方式高設栽培において、玉受け部にプチプチシートを使用すると、光が当たらない果実裏面が表面に近い着色が保たれる。

【玉受け部資材と果実着色】

玉受け部の資材として使用している透明ポリに比べ、プチプチシートとミラールマルチを用いると果実表面と裏面の赤色の差が小さくなる。ミラールマルチを用いた場合、果実と資材の接触部分が温度が高くなり軟らかくなりやすい（図1、図2）。

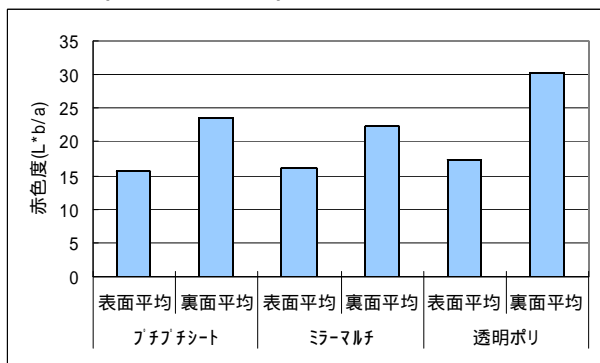


図1 玉受け部資材が果実着色に及ぼす影響（2007年3月7日）

注) 赤色度は色彩色差計で測定したL*b/aの値、各処理10果調査

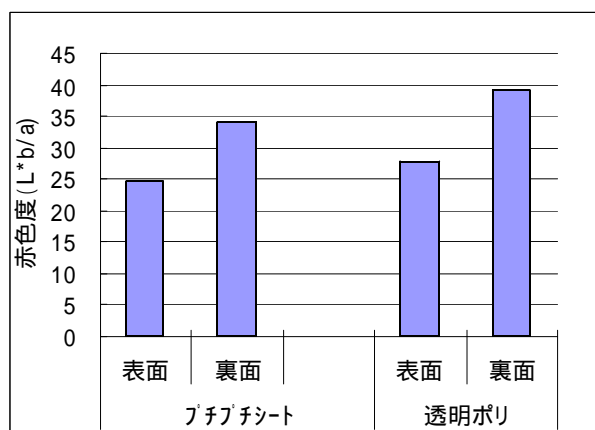


図2 玉受け部資材が果実着色に及ぼす影響（2008年2月12日）

注) 赤色度は色彩色差計で測定したL*b/aの値、各処理10果調査

【玉受け部資材と糖度、硬度】

果実糖度と硬度については、玉受け部資材の違いによる差はない（表1、表2）。

表1 玉受け部資材と果実糖度(%)

資材	1月	3月
プチプチシート	9.0	9.4
反射シート	8.7	9.3
透明ポリ	8.7	9.6

表2 玉受け部資材と果実硬度(g/ 5mm)

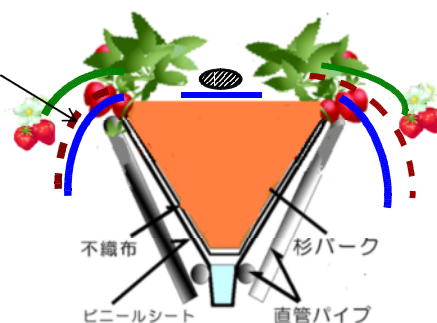
資材	1月	3月
プチプチシート	3.3	2.7
反射シート	3.4	2.9
透明ポリ	3.4	2.7

注) 1果実当たり3カ所の平均

【利用上の留意点】

資材価格は概ね10a当たり5万円である。プチプチシートの設置場所は下記の位置とする。

資材設置場所
(玉受け部)



大分方式高設システム模式図

